

関西大学

会計専門職
大学院

2027

アカウンティングスクール

GRADUATE SCHOOL OF
KANSAI UNIVERSITY,
SCHOOL OF ACCOUNTANCY

—実学の関大— 会計の頂点がここにある

MBA
in ACCOUNTANCY

会計専門職大学院の

1

→ P.6 参照

豊富な授業科目

キャリア設計に
最適

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用・実践と自分のレベルに応じた学修が可能です。また、講義形式の授業のみならず、演習・事例研究といった授業も多様に展開しています。さらに、国際社会やDX化にも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

2

→ P.14・15 参照

最適な学修環境

24時間365日
自習室利用

本会計専門職大学院生専用の個人ロッカーとキャレルが設備された快適な環境で、学修することができます。また24時間365日利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学修が可能です。



3

→ P.8・9・13 参照

会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。各種インターンシップはいずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

「会計力」を
実践

4

→ P.21 参照

充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金や貸与奨学金など、豊富な奨学制度を用意しています。

8の魅力

5

→P.11 参照

各種試験に対応

本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、証券アナリスト、U.S.CPA、公認内部監査人(CIA)、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

6

→P.10 参照

主要講義の動画配信

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は大学や自宅で何度でも繰り返し視聴することができます。

理解できるまで
何度でも



7

→P.11 参照

さらなる学修をサポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座を用意しています。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験の対策ができます。
[CPA資格取得支援プログラム]

3年コース・
4年コース

8

→P.23 参照

長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することになりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①年間の履修科目を少なくすることで、じっくりと時間をかけて学修できる。②学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 2 入学試験としては、一般入試(学力重視方式及び素養重視方式)、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留

学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。

- 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

1 教育内容

- (1) 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、
 - ①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
- (2) 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
- (3) 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニング

を可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。

2 学習成果の評価

- (1) 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
- (2) 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
- (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
- (4) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士(専門職)の学位を授与します。

1 (知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。

3 (主体的な態度)

国際化及びIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。



研究科長

三島 徹也

MISHIMA Tetsuya

みなさん、
 関西大学会計専門職大学院
 (アカウンティングスクール)へようこそ!

関西大学会計専門職大学院は、世界で通用する、理論と実務に習熟した会計専門職業人を養成することを目的としています。これは単に知識としての会計を学修するだけでなく、豊かな会計センスや高度な判断・思考能力に加えて、会計専門職業人としての職業倫理をも修得し、さらには、財務や法律・税務、経営・経済などの個性ある得意分野を身につけることを意味します。私たちは、これらを身につけた「会計心をもった超会計人」として、監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人(MBA in Accountancy)を養成します。

そこで、本会計専門職大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学修ができる科目を配置し、さらには、個性を伸ばす個別演習科目である各種ソリューションを置いています。学生が自分の進路や学修スタイルに応じて、明確なキャリア設計のもとで学修することができます。ほかにも、学生がいつでも学修できるように、24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意しています。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけないですか。私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の努力をします。

コンテンツ Contents

- 2 会計専門職大学院の8の魅力
- 4 設置の理念
- 5 ごあいさつ・コンテンツ・研究科概要
- 6 カリキュラム
- 7 履修モデル
- 8 講義紹介／インターンシップ体験談
- 10 サポート体制
- 12 在学生・修了生からのメッセージ
- 13 就職支援
- 14 キャンパス・施設紹介
- 16 公認会計士試験合格体験談
- 17 会計専門職体験談
- 18 教員スタッフ
- 21 学費・諸費／奨学制度
- 22 入試概要
- 23 数字でわかる関大AS／長期履修学生制度

研究科概要

名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール
設置形態	専門職大学院
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)
入学定員	40名(収容定員80名)
教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員8名、実務家教員5名) 兼任教員 1名 兼任教員 32名
授業形態	昼間開講
修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
修了所要単位	48単位
履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2026年4月現在

会計心 (Accounting Mind) をもった 超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

積上げ式の科目群として、「導入科目群」・「基本科目群」(会計専門職のための基礎的教育)、「発展科目群」(会計専門職としての発展的教育)、「応用・実践科目群」(会計専門職としての実務適応教育)。

横軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義 (Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目 (学修・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2026年度入学生適用カリキュラム>

系 統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
導入科目群	中級商業簿記	中級工業簿記			
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	公会計論 会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	商取引法 会社法 民法 法人税法 上級税務会計論 上級会社法 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 統計学 ミクロ経済学 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 マクロ経済学
発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	BATIC 演習 IFRS 演習 連結会計論 財務会計各論	コンサルティング実務 DX会計実務	自治体マネジメントと監査 会計検査制度論 内部監査事例研究 不正摘発監査論 国際監査事例研究	民法(債権)	経営学 資本市場論 起業・株式公開事例研究
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会社事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断科目	■発展科目群《特殊講義 (Specific Lecture)》 会計専門職業数学 企業マネジメントと会計 会計専門職キャリア教育		■応用・実践科目群 アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導(導入) 論文指導(基礎) 論文指導(実践)		
			修士論文 監査法人インターンシップ 企業インターンシップ		

・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記および中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

- (1) 基本科目群: 16単位
- (2) 発展科目群: 16単位
- (3) 応用・実践科目群: 12単位

・履修制限単位

1年間32単位

(ただし、導入科目群科目および監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含めません。)

・単位数

「論文指導(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位



会計専門職大学院の
ホームページで
学年暦や時間割を
ご覧いただけます。



研究科紹介

- 学則
- 学生数
- 学年暦
- 時間割

履修モデル

Course Model

カリキュラム

履修モデル

進路やニーズ、個々のレベルに応じた履修が可能

履修モデル① 【公認会計士】をめざす

[2026年度入学生適用カリキュラム]

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論	戦略管理会計論 コストマネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 不正摘発監査論	会社法 上級会社法 法人税法 上級税務会計論	経営学理論 経営戦略・組織論 ミクロ経済学 マクロ経済学
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 実践会計プログラム演習	管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 監査法人インターンシップ				

POINT

公認会計士短答式試験に合格できる学力を「基本科目群」の履修により修得し、「発展科目群」から公認会計士試験に対応する科目を能動的に選択することで論文式試験に合格できるレベルに到達できる。さらに監査業界のリーダーとして活躍できる考動力を身につけるために、「応用・実践科目群」と個別演習科目等から深く学ぶ。

履修モデル② 【組織内会計専門職】をめざす

[2026年度入学生適用カリキュラム]

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	英文会計論 IFRS会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業価値マネジメント論 コンサルティング実務	内部監査論 国際監査基準論 国際監査事例研究	会社法 上級税務会計論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 IFRS事例研究	国際管理会計事例研究	基本監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 企業インターンシップ				

POINT

会計専門職として必要となる基礎的な専門知識を「基本科目群」の履修により修得したうえで、「発展科目群」から自らが得意としたい分野について、国際やIT分野、ならびに「法律・税務系」、「経営・経済系」の中から選択できる。さらに企業や自治体等の組織において専門職として活躍するための高度な実践的能力を「応用・実践科目群」と個別演習等を履修することで修得する。

講義紹介

関大ASで公認会計士をめざす

高度な資格に基づく会計専門職業人をめざす学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的能力の修得をサポートします。

上級財務会計論

ピックアップ講義



財務会計は、企業外部の財務諸表利用者に企業の有用な財務状況を提供するための財務報告や財務諸表のあり方を検討、考察、検証する学問です。最近ではとくに、証券市場を前提とした情報提供に焦点を当てた議論が多くなっています。日本の証券市場に上場している企業は、適用する会計基準として、日本基準やIFRSを主に採用しています。

上級財務会計論では、これらの基礎となる考え方を理解することを主眼として、日本基準では『企業会計原則』、『財務会計の概念フレームワーク』を、IFRSでは概念フレームワークを題材として取り上げ、財務諸表による情報提供の枠組みを概説していきます。どれも同じ会計ではあるのですが、基礎となる考え方によって、描かれる企業の財務状況が異なってきます。この授業を通じて、財務会計の考え方を理解し、その後に学修するであろう具体的な会計基準や会計処理を理解する基礎を構築することができればよいと思います。

教授 富田 知嗣 TOMITA Satoshi
研究者教員

監査法人インターンシップ体験談



濱松 佳乃さん
HAMAMATSU Yoshino
1年次生

立命館大学産業社会学部 出身

仰星監査法人

【実習期間】2025年8月19日(火)～8月25日(月) (5日間)

監査法人のインターンシップに参加した目的は、大学院で学んでいる会計・監査の知識が、実務の現場でどのように用いられているのかを自分の目で確かめたいと考えたからです。特に、監査人が企業の財務情報にどのように向き合い、専門家として判断を下していくのか、その思考プロセスを実務を通して理解したいという思いがありました。

インターンシップでは、監査業務の一連の流れについての説明を受けたうえで、実際の監査調書の確認や簡易的な分析作業、グループワークを通じたリスクの洗い出しなどを体験しました。座学で学んだ基準や理論が、現場では企業ごとの状況を踏まえながら柔軟に適用されていることを実感し、知識だけでなく論理的に考える力や説明する力の重要性を強く感じました。

今回の経験を通じて、会計・監査の学修は単なる暗記ではなく、なぜそう判断するのかを常に意識する姿勢が不可欠であると学びました。今後は大学院での講義や演習においても、実務とのつながりを意識しながら理解を深め、専門性と実践力を兼ね備えた会計士をめざして学修に取り組んでいきたいと考えています。

関大ASで企業人や公務員等をめざす

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を修得します。企業の経理担当者や公務員をめざす学生のためにさまざまなサポートを行います。

実践会計プログラム演習

ピックアップ講義



本講義は、PCが完備されたパソコン教室において、財務会計ソフトである「勘定奉行」を活用して、一連の会計実務を学修するたいへん特色ある演習講義です。実際に事業等で使用されている会計ソフトを利用し、その操作性を学ぶとともに、一連の会計実務の流れを体感します。基礎理論の習得とともに、このような実践的な演習を行うことは、財務会計を正しく理解するためにたいへん有効です。

また、作成した財務データを加工し、経営管理資料として活用する方法、パソコンを用いた固定資産や在庫の管理方法、さらには事業計画の作成など、さまざまな角度から財務会計に関連した演習を行います。講義では、講師も受講生の画面をみながらアドバイスをしますが、受講生同士が教え合い、議論することも重視しています。多角的な視点で捉え、議論し、自分なりの結論を数値に落とし込み、数値で表現し説明する力は、会計専門職として必須の能力です。実践的なスキルを習得し、皆さんでたくさん議論して、会計の思考力、実践力を高めましょう。

特別任用教授 **小林 依子** KOBAYASHI Yoriko
実務家教員：公認会計士

企業インターンシップ体験談



樽川 颯人さん
TARUKAWA Hayato
1年生
近畿大学経営学部 出身

株式会社カネカ

【実習期間】2025年9月8日(月)～9月12日(金) (5日間)

一般企業の経理職を志すにあたり、これまで学んできた会計の専門知識が実務でどのように活用されているのかを自らの目で確かめたいと考え、参加を決意しました。本プログラムでは、本社と工場それぞれで具体的な業務フローについて詳しく説明を受け、実務の一部を体験させていただきました。

特に印象に残ったプログラムは、伝票承認と経費精算の実習です。これらは経理職に就けば必ず関わる定常業務ですが、これまで具体的なイメージを持つことができていませんでした。今回、実際のプロセスを模擬的に体験させていただいたことで、一連の流れを理解することができました。実際のシステムに触れながら学んだ実務のスピード感や責任の重さは、私にとって非常に大きな学びとなりました。

今回のインターンシップを通じて、理論と実務の結びつきを実感できたことが最大の収穫です。今後は大学院での学修においても、単なる教科書の理解にとどめるのではなく、「この知識は実務のどの場面で具体的に活かされるのか」という視点を常に持ち、就職後の実務を見据えて知識を確実に定着させていきたいと考えています。

※プロフィールの学年は2026年3月時点

サポート体制

入学前

在学中

入学前教育プログラム 入学前

新学期からの学修に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学修を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的として、入学前教育プログラムを実施しています。

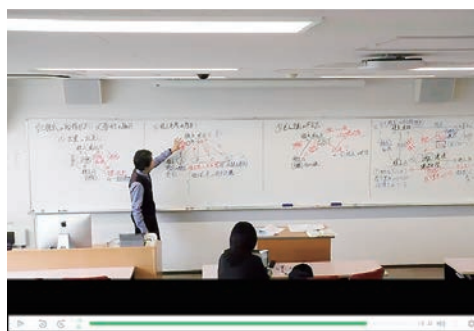


動画配信 在学中

履修している基本科目等の主要科目については、パソコン等のデバイスからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することが可能です。

2025年度 配信科目

- 上級簿記論
- 上級管理会計論
- 上級財務会計論
- 監査制度論
- 上級原価計算論
- 企業法 など



ソリューション 在学中

ソリューション科目は個別演習科目であり、その内容は、1年次配当のアカデミック・ソリューションと2年次配当のプロフェッショナル・ソリューションの2つから構成されています。

本科目では、会計専門職業人として身につけるべき会計的センスとスキルの涵養を目的とします。会計専門職業人として期待されるのは、単なる専門知識だけではありません。1つの課題に対して、種々の情報を収集し、それらを分析した後、分析結果を報告書として取りまとめ、説得力のある形でプレゼンテーションを行い、さらにディベートもできることは、会計専門職業人のみならず、社会人としても必須のスキルといえるでしょう。

本科目は複数のクラスが開講され、それぞれ異なる専門分野の教員が上記のスキルの養成に向けて指導します。そのため、アカデミック・ソリューションの専門分野と異なる専門分野のプロフェッショナル・ソリューションを受講することもできます。さらに、学生の幅広い個々のニーズに応えるべく、上記の学修指導に加えて進路指導も行います。



修了後

課外講座 在学中 修了後

本会計専門職大学院の在學生と修了生は、時間をかけて予備校に行かずとも、公認会計士試験対策の講座を受講することができます。

また、自習室から近い教室で実施されるため、時間を有効活用しながら、試験対策が可能です。修了生は、引き続き自習室を利用することもでき、快適な環境で効率的に学修時間を確保することができます。

CPA 資格取得支援プログラム ※2025年度実績

公認会計士試験に特化した、より実践的なレベルでの本格的な対策を行うことで、CPA試験の合格をめざすプログラムです。この講座は「資格の学校TAC」と提携し、試験傾向や出題者である試験委員の専門分野などを徹底分析したTACオリジナルテキストや試験問題を使用して運営されています。

受講者のメッセージ



川合 遼さん
KAWAI Ryo
1年次生
同志社大学経済学部 出身

学部生時代は経済学部在籍しており、会計に関しては専攻外であったため、独学で日商簿記2級や税理士試験の会計科目、大学院の筆記試験を勉強しているのみで、入学時点では、公認会計士試験を受験するレベルにはありませんでした。しかし、大学院に入学した以上、公認会計士試験に挑戦したい、大学院で学修する範囲の予習・復習をしたい、という思いからCPA資格取得支援プログラムの受講を決意しました。

大学院の講義後そのまま受講でき、受講後は自習室で復習や演習を行うことで、効率的な学習が可能です。料金も非常にリーズナブルで、費用面から見ても、公認会計士資格取得をめざす初めての講座として最適だと思います。

同学年では、学部生時代から勉強していた人が多く、初學者の私は、講義のない日でも仲間に質問したり、一緒に問題を解いたりすることで、切磋琢磨できる環境を作れたことが本プログラムを受講してよかったと思う点です。

担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

各種試験 修了後

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、U.S.CPA、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



※プロフィールの学年は2026年3月時点

在学生からのメッセージ

The Message from Students

公認会計士試験合格はもちろん

さまざまな目標をもった学生が日々の学修に励んでいます。



今福 晃一さん
IMAFUKU Koichi
2年次生
関西大学商学部 出身

私は学内進学試験を経て関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学しました。進学の手は、ゼミの指導教授から、実務で不可欠なPCツールを使用する実践的な授業が充実していると感じたこと。実務への不安を解消し、即戦力としてのスキルを丁寧に学びたいと考えていた私にとって、本学ASの環境は非常に魅力的でした。また、充実した奨学制度により、学業に専念できる体制が整っていたことも、進学を決意する後押しとなりました。

本学ASは公認会計士試験対策のみならず、合格後のキャリアを見据えた高度な専門性や実務スキルを修得できる授業が充実しており、将来の活躍する姿を具体的に描きながら学ぶことができます。

学修環境も整っており、図書閲覧室で仲間とホワイトボードを囲んで教え合う時間は、一人では得られない深い理解と刺激を与えてくれます。同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨し、共に高め合える本学ASは、公認会計士をめざすうえで最高の環境だと感じています。

1年次の履修科目

時限	春 学 期					秋 学 期				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	会計基準論		監査基準論							会社法
2	上級簿記論/ 上級管理会計論*	監査制度論/ 企業法*		上級財務会 計論*				会社経理実務		監査報告論
3	上級財務会 計論*			上級簿記論/ 上級管理会計論*	監査制度論/ 企業法*	基本監査 プログラム演習		特殊講義 (連結会計実務)		特殊講義 (連結会計実務)
4										
5	アカデミック・ ソリューション*					アカデミック・ ソリューション*				

※本授業はクォーター科目です。

※プロフィールの学年は2026年3月時点 ※カリキュラムは取材時のものを掲載しています。

修了生からのメッセージ

The Message from Graduates

公認会計士・監査法人以外でも

多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。



上蘭 一心さん
UEZONO Isshin
2025年3月修了

大和ハウス工業株式会社 勤務

私は早期卒業制度により関西大学商学部を3年間で卒業し、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)へ入学しました。進学を決めた理由は本学ASが公認会計士を安心してめざせる環境と感じたためです。実際に、自習スペースが充実していたことに加え、アウトプット中心のカリキュラムを履修できた点は、就職活動や就職後のキャリアに繋がるものであると感じました。

カリキュラムを通して私は言語化する力を養うことができました。これは営業とは違った、経理に必要なコミュニケーション能力だと思います。「分かっているつもり」ではなく「説明できる知識」を得られたことに大きな価値を感じています。

私は公認会計士試験での成績がふるわない中、実務に触れたい思いもあり、一般企業への就職を決意しました。就職活動は遅めの開始となりましたが、本学ASでの学びを評価していただけることが多く、円滑に進めることができました。就職活動において、自らの価値を明確にできる点も本学ASの良さだと思います。

皆さんはさまざまなキャリアプランを描かれると思いますが、会計に関する仕事に携わる以上、本学ASでの学びは財産になります。本学ASでの学びを活かし、共に成長できることを願っています。

専門分野での就職をめざす人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを活かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。



2025年度参加の監査法人は、有限責任あずさ監査法人、PwC Japan有限責任監査法人、仰星監査法人、EY新日本有限責任監査法人、三優監査法人、有限責任監査法人トーマツ、太陽有限責任監査法人の7社でした。

一般企業での就職をめざす人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりするなどの支援も実施しています。

■ インターンシップ

監査法人インターンシップに加え、本会計専門職大学院独自の企業インターンシップを実施しています。

(過去5年間の実績)

監査法人	企業
仰星監査法人	住友精化
	カネカ
太陽有限責任監査法人	あすか税理士法人
	税理士法人日本経営
	税理士法人 和

就職状況

在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院=公認会計士=監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

過去5年間の修了生のおもな就職先

●EY税理士法人	●シャープ	●日本M&Aセンター
●大阪国税局	●ソニー・ミュージックエンタテインメント	●PwC税理士法人
●亀田製菓	●住友精化	●三菱UFJ信託銀行
●クボタ	●大和ハウス工業	●楽天
●サントリーホールディングス	●東芝	ほか

キャンパス・施設紹介

千里山キャンパス

緑豊かな千里山キャンパス。関西の中心地、大阪駅(梅田駅)から約20分の好立地で、交通アクセスも抜群です。



梅田キャンパス

グループ学習や自習用のスペースとして利用が可能です。



総合図書館

蔵書数は220万冊以上、座席数は2,000席以上と、大学図書館としては全国トップクラスの設備と規模を誇る施設です。



快適な学修環境(第2学舎2号館)

会計専門職大学院の講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。同じ建物内に自習室や食堂もあり、非常に快適な環境で学修することができます。

■ 図書閲覧室



新聞や会計関係の雑誌を閲覧することができます。

■ パソコン教室



専用のパソコン教室では「基本会計プログラム演習」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

■ 図書資料室



会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。

■ 食堂・コンビニ



授業や自習の合間に、館内から外に出ることなくリフレッシュできます。

■ 講義室・演習室

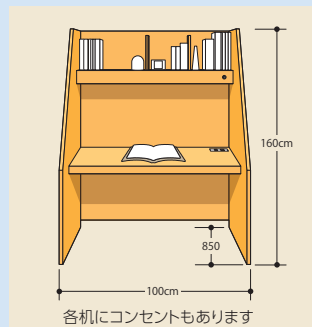


講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。

■ 会計専門職大学院自習室



関大AS生専用の自習室を、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間365日利用可能」です。また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。



もちろん、館内全域でWi-Fi利用可能です



図書閲覧室等に設置されているコピー機では、年間1500枚まで無料コピーが可能です



自習室内には、個人ロッカー(1人2つ)が設置されています

VOICE



自習室はICカードで入退室が管理されているので、部外者の立ち入りもなく、夜間も安心して勉強することができます。



自習室のほかにも、総合図書館やパソコン教室などを自由に使えるため、場所を変えながら、集中力を切らさず勉強に励むことができました。



安藤 美帆さん

龍谷大学経済学部 出身

本学での学びで得た成長と学修環境の魅力

有限責任監査法人トーマツ 就職

私が関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学した理由は、大学卒業までスポーツ一筋で取り組んできたため、入学後は環境を整えて公認会計士試験の勉強に集中したいと考えたからです。初学者として入学した当初は授業についていくことが大変でしたが、先生方は授業時間外のオフィスパワーでも丁寧に質問対応をしてくださり、基礎力を着実に固めることができました。論文式試験対策では、ゼミの先生に毎週答練を添削していただき、弱点を一つずつ克服できたことが大きな自信につながりました。

また、本学ASには公認会計士をめざす仲間が多く、互いに教え合いながら切磋琢磨できる点も大きな魅力です。実際に授業外では学生同士で勉強会を開き、議論をしながら理解を深めました。在学中での学びは常に成長を実感できる貴重な時間でした。

最後に、本学ASは公認会計士をめざす方や会計分野に興味がある方にとって、最適な学修環境としておすすめできます。

2024年 4月 関西大学会計専門職大学院 入学
2026年 3月 関西大学会計専門職大学院 修了

2025年 6月 公認会計士試験短答式試験 合格
2025年11月 公認会計士試験論文式試験 合格



河村 抗瑠さん

関西大学人間健康学部 出身

関西大学会計専門職大学院での学修

EY新日本有限責任監査法人 就職

私は会計および監査に関する専門的な知識、および実務を見据えた実践的な能力を身につけるために、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学しました。私は公認会計士試験の合格をめざしていたため、試験勉強も本学ASの自習室で行っていました。

本学ASには勉強するための環境が十分に整えられています。24時間利用可能な自習室やパソコン教室がその例です。自習室が非常に静かなため、集中して勉強に取り組むことができました。また、自習室には、同じ目標に向かって勉強している仲間もいるため、互いに切磋琢磨し、成長することができました。さらに、講義では元公認会計士試験委員の監査論の先生に論述の添削をしていただくことで、筋の通った論述の書き方を学びました。その結果、論文式試験では監査論で好成績を収めることができました。

本学ASでは公認会計士試験合格のためだけではなく、その先の実務を見据えた勉強をすることができます。その結果、キャリアの選択肢が大きく広がり、大いに成長できます。公認会計士をめざす方は本学ASで学ぶことをおすすめします。

2024年 4月 関西大学会計専門職大学院 入学
2026年 3月 関西大学会計専門職大学院 修了

2025年 1月 公認会計士試験短答式試験 合格
2025年11月 公認会計士試験論文式試験 合格



吉田 瑠友奈さん

関西大学経済学部 出身

会計専門職としての基礎と実践力を育む学び場

PwC Japan有限責任監査法人 就職

私は関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に在学中に公認会計士試験の学修を開始し、2年間で合格に至ることができました。それは本学ASの講義が知識の暗記に偏ることなく、会計基準や実務の背景を踏まえた理解を重視していることで、試験対策だけでは得られない学問的・実務的な知識を養うことができたからです。実際の監査ソフトを用いるような実務を意識した演習や、インターンシップ、実務経験豊富な教員による講義を通じて、会計・監査の全体像を具体的に捉えられたことは大きな学びとなりました。

また、教員やOB・OGの方々との交流を通じ、会計士としての働き方や将来像を描きながら就職活動を進めることができました。

さらにロッカーや広々とした机がある24時間365日利用可能な自習室と、同じ目標を持つ仲間の存在が、最後までやり遂げる支えとなりました。会計を体系的かつ実践的に学び、確かな専門性を身につけたい方には、ぜひ本学ASで学んでいただくことをおすすめします。

2023年 4月 関西大学会計専門職大学院 入学
2025年 3月 関西大学会計専門職大学院 修了

2025年 1月 公認会計士試験短答式試験 合格
2025年11月 公認会計士試験論文式試験 合格

住友精化株式会社 勤務

会計の力で成長することをめざして

前田 瞳さん MAEDA Hitomi 2025年3月修了

私は関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)で、会計を単なる知識ではなく、意思決定を支える実践的なツールとして学びました。財務会計や管理会計、原価計算等を体系的に学ぶ中で、数字の結果だけでなく、その背景や要因を考える姿勢が身につく、将来は現場に近い立場で企業活動を支える仕事に携わりたいと考えようになりました。

在学中には本学AS独自の企業インターンシップとして住友精化株式会社のプログラムに参加し、工場の実務に触れながら、本学ASで学んだ会計知識がどのように活かされているのかを実感しました。この経験が入社を志望する大きなきっかけとなり、現在は工場経理を担当しています。もちろんまだまだ学ぶ立場ではありますが、本学ASで培った「数字の意味を考える視点」を意識しながら、日々の業務に取り組んでいます。大学院生活は決して楽ではありませんが、将来のキャリアを考えるうえで非常に貴重な時間でした。

受験生の皆さん、本学ASは主体的に学ぶことで、自身の可能性を広げられる環境だと思います。ぜひ将来の自分への投資として本学ASに入学し、入学後も努力を重ねてください。心から応援しています。



株式会社クボタ 勤務

グローバルに活躍できる企業会計人をめざして

村中 勇太さん MURANAKA Yuta 2025年3月修了

私は、社会で活躍するための高度な会計知識と専門性を身につけたいと考え、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。

本学ASでは実務に直結したカリキュラムや手厚い学修サポートなど、学修環境が整っており、それらを活用することで日商簿記1級を取得することができました。また、企業法や経営学といった会計以外の分野も体系的に学ぶことができ、多角的な視点を備えた会計人をめざすうえで、非常に魅力的な学修環境であったと感じています。

特に、坂口教授等のゼミでは、財務会計・管理会計に関する実務的な知識を深めるとともに、仲間との議論を通じて思考力を養うことができました。この経験は、現在メーカーで働く私にとって、大きな財産となっています。

本学AS修了後は株式会社クボタに入社し、主工場の経理業務を担当しています。工場単位での財務諸表作成や予実管理など、財務会計と管理会計の両面が求められる業務に携わっている中で、本学ASで培った知識や視点が大いに役立っています。

会計知識がますます求められる社会において、本学ASは確かな実力を身につけることができる場です。本学ASで学ばれる皆さんが、将来それぞれの分野で活躍されることを心より願っています。



公認会計士試験合格者状況

過去3年間実績

※()内は内数で、在学生合格者数を示す。

合格年度	合格者数	主な就職先
2023年度	7名(5名)	EY新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwC Japan有限責任監査法人、太陽有限責任監査法人 ほか
2024年度	11名(5名)	
2025年度	16名(14名)	

教員スタッフ



大西 靖 教授

ONISHI Yasushi

■ 担当科目
中級工業簿記、上級管理会計論、
ソリューション各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- 「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- 著書は『環境経営イノベーションの理論と実践』(中央経済社) (共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント:アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数



富田 知嗣 教授

TOMITA Satoshi

■ 担当科目
上級財務会計論、会計基準論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- 「利益平準化のメカニズム」により博士(商学)関西大学の学位取得
- 公認会計士
- 主な著書として、「利益平準化のメカニズム」(中央経済社)、「倒産指数」(日本経済新聞社)、発表論文として、「新会計基準による連結予測利益の精度への影響」、「ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—」ほか多数



加藤 久明 教授

KATO Hisaaki

■ 担当科目
中級商業簿記、上級簿記論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- 「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士(経営学)立命館大学の学位取得
- 主な著書として、「現代リース会計論」(中央経済社)、「リース会計基準の論理」(税務経理協会) (共著)、発表論文として、「リース会計基準の改定動向に関する分析と検討」、「IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察」ほか多数



中村 繁隆 教授

NAKAMURA Shigetaka

■ 担当科目
法人税法、租税法理論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
- 「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士(法学)関西大学の学位取得
- 「課税繰延べ防止策の研究—FIF (Foreign Investment Fund) ルールを主題として—」により、第28回日税研究賞(研究者の部)を受賞
- 著書として、「教材国際租税法 新版」(慈学社出版) (分担執筆)、発表論文として、「租税条約における事業譲渡類似株式等の譲渡収益に関する研究—二国間租税条約上の組織再編成条項の観点から—」、「The Study on Future Directions of Tax Treaty Policies on Cross-border Corporate Reorganizations in Japan—Focusing on Reorganization Clauses in Bilateral Tax Treaties—」ほか多数



坂口 順也 教授

SAKAGUCHI Junya

■ 担当科目
上級原価計算論、戦略管理会計論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- 「サプライチェーン・マネジメントが組織間管理会計に与える影響に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- 元公認会計士試験委員
- 著書は「組織間マネジメント・コントロール論—取引関係の構築・維持と管理会計—」(中央経済社、日本管理会計学会文献賞・日本原価計算研究学会著作賞受賞)、論文は「The interfirm contracting value of management accounting information」(共著)、「組織間における契約の諸側面とその関連性—組織間マネジメント・コントロールの設計—」(日本原価計算研究学会論文賞受賞)ほか多数



古田 美保 教授

FURUTA Miho

■ 担当科目
会計制度論、上級税務会計論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 横浜国立大学大学院国際社会学部経営学専攻博士課程後期課程修了
- 「租税属性の制限・緩和による法人税制上のインセンティブに関する研究—欠損金の調整可能性の観点から—」により博士(経営学)横浜国立大学の学位取得
- 著書として「減損会計の税務論点」(中央経済社) (分担執筆)、「デジタル社会の会計と法人課税」(中央経済社) (分担執筆)等

● 担当科目は、2026年度開講の各教員の担当科目を示す。 ● 現職は2026年4月現在 ※は特殊講義として開講



松本 祥尚 教授

MATSUMOTO Yoshinao

■ 担当科目
監査制度論、監査報告論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- 日本監査研究学会理事、日本ガバナンス研究学会理事、国際会計研究学会監事、Academy of Accounting Historians Trustee、会計大学院協会副理事長、会計大学院評価機構評価部会委員、企業会計審議会臨時委員、金融審議会専門委員、元公認会計士試験委員(監査論)
- 主な著書として、『ベーシック監査論』(同文館出版)(共著)、『監査報告書論』(中央経済社)(共著)、『監査・証明業務の多様性に関する研究』(日本公認会計士協会出版局)(編著)、『公認会計士の将来像』(同文館出版)(共著)、『会計士監査制度の再構築』(中央経済社)(共著)、『実証的監査理論の構築』(同文館)(共著)ほか多数



三島 徹也 教授

MISHIMA Tetsuya

■ 担当科目
企業法、会社法、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 関西大学大学院法学研究科私法学専攻博士課程後期課程単位修得後退学
- 主な著書として、『プライマリー会社法(募集株式の発行等、新株予約権、社債)』(法律文化社)、『プライマリー商法総則・商行為法(商業帳簿)』(法律文化社)(いずれも共著)、発表論文として、『フランチャイザーの第三者に対する責任(一)(二完)』、『資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察-ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として』ほか多数

オフィスパワー



会計専門職大学院では、「オフィスパワー制度」を設けています。すべての教員が週に一度(90分間)のオフィスパワー時間を設定しており、講義での疑問点や学習方法、進路等について、教員に直接相談することができます。

特別任用教員

乾 将太 准教授

INUI Shota

■ 担当科目
会計制度論、連結会計論*、財務会計各論*

- プロフィール
- ・ 関西学院大学商学部卒業
 - ・ 公認会計士、税理士
 - ・ EY新日本有限責任監査法人において金商法や会社法等の法定監査のほか、上場支援業務、アドバイザリー業務、地方自治体向けの財務コンサルティング業務に従事のほか、各種セミナー講師等を担当。
 - ・ 乾公認会計士事務所を開設し、税務業務、内部統制構築支援業務、内部監査支援業務、地方公営企業の経営戦略支援業務、会計支援業務等を行う



香田 加良子 教授

KOUDA Kayoko

■ 担当科目
不正摘発監査論*、DX会計実務、内部監査事例研究

- プロフィール
- ・ 明治大学文学部卒業
 - ・ 公認会計士、税理士
 - ・ EY新日本有限責任監査法人にて金融商品取引法監査、会社法監査、財務調査、アドバイザリー等に従事した後、大手IT企業にてERP導入支援、内部統制評価支援等に従事。その後、香田公認会計士・税理士事務所を開設し、税務、法定監査、農業協同組合検査、内部統制評価支援、財務調査等を行う
 - ・ 2012年からは約12年間、(合)ユー・エス・ジェイの内部監査室長として、内部監査、内部統制評価、社内調査、リスクマネジメント等に従事



小林 依子 教授

KOBAYASHI Yoriko

■ 担当科目
ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習、
資本市場論*

- プロフィール
- ・ 関西大学経済学部卒業
 - ・ 公認会計士、税理士
 - ・ 大学卒業後、大阪国税局に入局、管内税務署の法人課税部門にて法人税等調査等に従事
 - ・ その後十数年にわたり、有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法、会社法等の法定監査業務のほか、上場支援業務、財務調査、アドバイザリー等の業務に従事
 - ・ 2013年より3年間、任期付国税審判官として大阪国税不服審判所に入所、国税に関する審査請求事件の審査に従事
 - ・ 公認会計士・税理士事務所を開設、監査業務のほか、税務業務、組織再編等支援、価値評価業務等を行う



田中 基博 教授

TANAKA Motohiro

■ 担当科目
監査基準論、監査事例研究

- プロフィール
- ・ 同志社大学法学部卒業
 - ・ 公認会計士
 - ・ 有限責任あずさ監査法人にて監査責任者を務め、多くの企業の財務諸表および内部統制の監査業務に従事。M&Aにおける財務デューデリジェンス業務や、IFRS基準で作成された財務諸表および内部統制の監査業務を経験
 - ・ 主な監査経験業種は、重工業メーカー、鉄道事業、蓄電池メーカー、鉄鋼会社、タイヤメーカー、産業ガスメーカーなど。専務役員を経て、田中基博公認会計士事務所を開設し、監事や監査役に就任



廣田 壽俊 教授

HIROTA Hisatoshi

■ 担当科目
会計専門職業倫理、会計事例研究

- プロフィール
- ・ 神戸大学経営学部卒業
 - ・ 公認会計士
 - ・ EY新日本有限責任監査法人にて業務執行社員として様々な業種の会社法監査や金融商品取引法監査、学校法人監査に関与。監査以外に企業向け各種セミナーを管理、日本公認会計士協会常務理事として監査・規律審査会副審査会長を務め、会員の監査業務や倫理規定等への準拠等を検証・検討、日本公認会計士協会近畿会副会長として監査会計委員会や組織内会計士委員会など近畿会各部・委員会の活動・研究等を指揮、その後、公認会計士廣田壽俊事務所を開設し、監査役・監事に就任



教員スタッフ

The Faculty Staff

客員教授



柳瀬 太郎 氏

YANASE Taro

会計検査院
事務総長官房
サイバーセキュリティ・情報化審議官



小林 礼治 氏

KOBAYASHI Reiji

有限責任あずさ監査法人
専務執行役員(大阪事務所長)
公認会計士



竹中 平蔵 氏

TAKENAKA Heizo

慶應義塾大学名誉教授
元国務大臣
世界経済フォーラム(ダボス会議)理事 など



藤沼 亜起 氏

FUJINUMA Tsuguoki

元国際会計士連盟会長
元日本公認会計士協会会長(現相談役)
元中央大学大学院ビジネススクール
特任教授(現CBSフェロー)など

兼任教員・兼任教員

浅野 信博 ASANO Nobuhiro

●現職 大阪公立大学大学院経営学研究科 教授
●担当科目 英文会計論

荒井 巖 ARAI Iwao

●現職 太陽有限責任監査法人/公認会計士/
不動産鑑定士
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

新井 康平 ARAI Kohei

●現職 大阪公立大学大学院経営学研究科 教授
●担当科目 マネジメント・コントロール・システム論

飯田 俊治 IIDA Toshiharu

●現職 EY新日本有限責任監査法人/公認会計士
●担当科目 特殊講義(国際監査事例研究)

池上 しのぶ IKEGAMI Shinobu

●現職 公認会計士
●担当科目 会社経理実務

榎本 成一 ENOMOTO Seichi

●現職 株式会社Bridge Japan 代表取締役/公認会計士
●担当科目 コストマネジメント論

笠井 直樹 KASAI Naoki

●現職 滋賀大学経済学部 准教授
●担当科目 国際監査基準論

鎌田 啓貴 KAMATA Keiki

●現職 鎌田特殊鋼株式会社 相談役
●担当科目 特殊講義(会社専門職キャリア教育)

瓦田 沙季 KAWARADA Saki

●現職 兵庫県立大学社会科学部 教授
●担当科目 会計論

岸本 達司 KISHIMOTO Tatsuji

●現職 新世総合法律事務所/弁護士
●担当科目 企業法判例演習

衣笠 茂英 KINUGASA Shigehide

●現職 公認会計士/税理士
●担当科目 中級商業簿記

吉良 勝明 KIRA Katsuaki

●現職 公認会計士/税理士/社会保険労務士
●担当科目 内部監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

金 志煥 KIN Shikan

●現職 金公認会計士事務所/公認会計士/税理士
●担当科目 特殊講義(自治体マネジメントと監査)

久保田 浩文 KUBOTA Hirofumi

●現職 大手前大学経営学部 教授/公認会計士
●担当科目 組織再編会計論

佐久間 智広 SAKUMA Tomohiro

●現職 神戸大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 国際管理会計事例研究

関本 明浩 SEKIMOTO Akihiro

●現職 公認会計士
●担当科目 中級工業簿記

高階 利徳 TAKASHINA Toshinari

●現職 兵庫県立大学国際商経学部 教授
●担当科目 経営学理論

筒井 万理子 TSUTSUI Mariko

●現職 近畿大学経営学部 教授
●担当科目 経営戦略・組織論

戸田 圭亮 TODA Keisuke

●現職 太陽有限責任監査法人/公認会計士
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

濱村 純平 HAMAMURA Jumpei

●現職 関西学院大学商学部 教授
●担当科目 企業価値マネジメント論

早川 翔 HAYAKAWA Sho

●現職 京都産業大学経済学部 教授
●担当科目 管理会計事例研究

韓 池 HAN Chi

●現職 大阪公立大学経済学研究科 教授
●担当科目 特殊講義(会計専門職業数学)

東 拓也 HIGASHI Takuya

●現職 有限責任監査法人トーマツ/
公認会計士
●担当科目 IFRS事例研究

広瀬 憲三 HIROSE Kenzo

●現職 関西学院大学商学部 教授
●担当科目 ミクロ経済学、マクロ経済学

古橋 孝志 FURUHASHI Takashi

●現職 アドフォリオコンサルティング 代表
●担当科目 企業実践コミュニケーション

堀竹 学 HORITAKE Manabu

●現職 追手門学院大学法学部 教授
●担当科目 民法、特殊講義(民法【債権】)

松井 隆雄 MATSUI Takao

●現職 公認会計士
●担当科目 特殊講義(BATIC演習)

松尾 精彦 MATSUO Akihiko

●現職 関西大学経済学部 教授
●担当科目 統計学

松浦 総一 MATSUURA Soichi

●現職 立命館大学経営学部 准教授
●担当科目 税務事例研究

安福 健也 YASUFUKU Kenya

●現職 EY新日本有限責任監査法人/
公認会計士・公認不正検査士
●担当科目 企業分析論特殊講義(IFRS演習)

山田 善隆 YAMADA Yoshitaka

●現職 公認会計士(日本・米国)
●担当科目 監査実施論

弓場 啓司 YUMIBA Keiji

●現職 公認会計士/一般社団法人国際コンピュータ
利用監査教育協会代表理事
●担当科目 実践監査プログラム演習

●現職は2026年4月現在

●担当科目は、2026年度開講の各教員の担当科目を示す。

学費・諸費/奨学制度

Tuition/Scholarship

教員スタッフ

学費・諸費/奨学制度

学費・諸費(2年コース)

2027年度入学者の学費・諸費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項をご確認ください。

種別	区分	2027年度		2028年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入学金	260,000円		
	授業料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸費	校友会基本会費	10,000円		20,000円
合計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科学則第26条第11号に規定する者(飛び入学する者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」)の方は、関西大学国際部へお問い合わせください。

① 関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院) 給付奨学金(2027年度予定)

学部卒業見込者(飛び級を含む)、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者対象

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者		
ア 公認会計士試験(論文集) 1科目以上合格者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 2年間 ^{※1}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 1年間 ^{※2 ※3}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
ウ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間 66万円 (授業料の半額相当額) 1年間 ^{※2 ※3}	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
入試成績優秀者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 2年間 ^{※1}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または 年間 132万円 (授業料の全額相当額) 1年間 ^{※3}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または 年間 66万円 (授業料の半額相当額) 1年間 ^{※3}	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学生(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

② 日本学生支援機構奨学金(2026年度現行)

奨学金種別	貸与金額	貸与期間
第一種奨学金(無利子)	50,000・88,000円から選択(月額)	入学年度の4月～ 標準修業年限の終期まで
第二種奨学金(有利子)	50,000、80,000、100,000、130,000・150,000円から選択(月額)	
授業料後払い制度(無利子) ※大学に授業料納入猶予の申請を行い、猶予が認められた方が申請できる制度となります。	[授業料支援金] 年776,000円を上限として大学が請求する授業料(入学登録金及び諸費は対象外) [生活費奨学金] 月0円(利用しない)、20,000、40,000円から学生が選択する額	[第一種奨学金]及び「授業料後払い制度」は、大学院設置基準に定める通常の標準修業年限2年間で貸与期間となります。そのため、長期履修コースの3年目以降については貸与できません。

※在留資格が「留学」の学生は申し込みできません。

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエン트コーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、奨学支援グループまでお問い合わせください。

入試概要

5/13(水) 6/6(土) 9/16(水) 11/14(土) 1/29(金)

進学説明会 開催予定!

対 面

オンライン



詳細はWebサイトへ

2027年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集 ^{※2}	1月募集 ^{※2}	3月募集 ^{※2}
入試種別 ^{※1} (方式)	一般[学力・素養] 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人
試験地	関西大学 千里山キャンパス			
出願期間 〔締切日消印有効〕	2026年 6月12日(金) } 2026年 6月19日(金)	2026年 9月25日(金) } 2026年10月 2日(金)	2026年12月18日(金) } 2027年 1月 8日(金)	2027年 2月12日(金) } 2027年 2月19日(金)
試験日	2026年 7月 5日(日)	2026年10月18日(日)	2027年 1月24日(日)	2027年 3月 6日(土)
合格者発表日	2026年 7月10日(金)	2026年10月30日(金)	2027年 1月29日(金)	2027年 3月12日(金)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。

※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。

※3 その他入試として、指定校推薦入試、留学生別科特別入試を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

2027年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(簿記および原価計算)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接

入学試験結果

	2024年度			2025年度			2026年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	155	45	27	137	24	18	121	36	24
学内進学試験	30	29	22	28	22	18	22	20	18
早期卒業者特別入試	4	4	2	1	1	1	2	2	1
公募制推薦入試	10	9	8	7	6	5	7	4	3
指定校推薦入試	4	4	4	14	9	9	6	5	4
留学生別科特別入試	2	1	1	3	0	0	1	0	0
資格取得者・社会人入試	18	15	10	8	4	4	7	7	5
合 計	223	107	74	198	66	55	166	74	55

数字でわかる 関大AS

※2025年度入学生55名のデータ

<p>● 平均年齢 ●</p> <p>平均年齢 23歳</p>	<p>● 出身学部 ●</p>	<p>● 男女比率 ●</p> <p>8 : 2</p>
<p>● 入学時 試験合格状況 ●</p> <p>公認会計士試験短答式試験 合格者</p> <p>7名</p> <p>日商簿記検定 1級合格者</p> <p>12名</p>	<p>● 関大AS給付奨学金 採用人数 ●</p> <p>12名</p>	<p>● 社会人経験者 ●</p> <p>7.3%</p> <p>※職務経験のある学生の割合</p>

「学部3年+大学院2年」も可能!

大学の学部3年次在学中の方は、10月・1月・3月募集において、早期卒業・飛び級制度を利用した受験が可能です。大学4年次の時間的・経済的負担を軽減して、大学院修了をめざしましょう!

- 早期卒業** 所属大学の早期卒業制度の要件を満たす必要があります。
- 飛び級** 3年次終了時点で退学して大学院へ進学することになり、所属大学から卒業資格は与えられません。

より上位の奨学金への挑戦!

入学試験は年に4回実施します。試験ごとに給付奨学金採用者を決定しますので、より上位の奨学金をめざして、複数回受験することもできます。

仮に先の日程で入学手続(入学登録金の納入)をした場合でも、申し出により、後の日程の手続きに振り替えることが可能です。

※詳細は、2027年度学生募集要項をご確認ください。

長期履修学生制度

入学者の多様な学修ニーズに対応するため、長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。

この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位	
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	
4年コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	

Access Map



関西大学 会計専門職大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 入試センター 大学院入試グループ
TEL:06-6368-1121 (大代表)
E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/as/>

